

SG Report




No.12

『スーパープレゼンテーション in Seiseiko』

- 日時： 平成27年2月18日（水）13：30～15：10 本校体育館
- 参加者： (1)1・2年生全生徒および職員
 (2)学校評議員（来賓）および保護者の参観希望者
 (3)同窓会（来賓）
 (4)県教育委員会（来賓）・運営指導委員会（来賓）・指導助言委員会（来賓）
 (5)県下高校・県下大学
 （熊本大学・熊本県立大学・熊本学園大学・崇城大学・東海大学）
 (6)その他（一般参加者）

1	<p>オープニング13：30～13：45</p> <p>(1) 学校紹介ビデオ 本覺の沿革と掲げるグローバルリーダー像などを紹介。また今年度のSGコース生徒が実際に行った化血研訪問やAPU訪問などの様子も織り込まれ、SGコースの様子を具体的に紹介した。</p> <p>(2) 覺長挨拶 求める人材などについて英語で挨拶をした。</p>
2	<p>課題研究テーマ発表13：45～14：25（40）</p> <p>8つのグループがこれから何について研究を進めていくのか、動画やパワーポイントを駆使し、そのアウトラインを英語で発表した。</p> <p>《各グループのテーマ》</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) Environmental problems in developed and developing countries 【先進国と発展途上国における環境問題】 2) No more extinction of animals! 【もうこれ以上絶滅危惧種を増やすな！】 3) Environment and energy generation 【環境と代替エネルギーの創造】 4) Which is more important, developing nature, or protecting nature? 【自然開発と自然保護どちらが重要か？】 5) Can we solve environmental problems with money? 【お金で環境問題は解決できるか？】 6) Global warming 【地球温暖化】 7) Effects of economic disparity 【経済格差の（環境に及ぼす）影響】 8) Environmentally friendly trash disposal 【環境にやさしいゴミ処理】



3	<p>即興型英語ディベート・デモンストレーション14:25~14:55 (30)</p> <p>“Students who toss away rubbish will be suspended from school” (ポイ捨てをした学生は停学にすべきだ)</p> <p>6月から即興型ディベート講座を受講してきた生徒6名で肯定側と否定側に分かれ、即興型英語ディベートのデモンストレーションを行った。途中Point of Information (即興で行う質問) などもあり、臨場感に溢れたものだった。各ディベーターの発言後は、本講座で講師を務めていただいた大阪府立大学の中川助教による解説もあった。この即興型ディベートは「いかにジャッジを納得させるか」というのが最大のポイントであり、本ディベートの最後では会場全体に肯定側と否定側のどちらの意見に納得できたか、という問いかけがあった。会場は否定側、中川助教は具体例がよく述べられていた点を挙げ、肯定側にポイントを与えた。</p>  
4	<p>講評14:55~15:20 (15)</p> <p>引き続き大阪府立大学の中川智皓助教による講評を頂いた。全9回の即興型ディベート講座でどのようなことをしてきたか、そしてどう生徒たちが学び成長してきたかを織り込んだ講評であった。また専門家講義で講師を務めていただいた株式会社東芝の伊藤直美氏とスカイプでつなぎ、講評を英語でいただいた。</p> 
5	<p>クロージング15:20~15:25 (5)</p> <p>吹奏楽部、弦楽部によるファンファーレをもって会を閉じた。</p>

【感想】 (ほぼ原文のまま)

- ・今回のSGH中間報告会で僕は発表者として参加しました。たった1~2分の時間でしたが、大勢の人の前で英語でプレゼンテーションをするという経験は僕にとってとても貴重なものになりました。今回のこの貴重な経験を夏にあるプレゼンに役立てたいと思います。緊張を超えたワクワクするような興奮を忘れません。(Y. H.)
- ・友人があんなに上手に英語を話していてすごいと思いました。映像などもうまく使っており、感動しました。私も発表した人たちみたいに英語をうまく話せるようになりたいと思いました。また、ディベートではユーモア性もあり、とても良いと思いました。聞いていてすごく楽しかったです。SGHのクラスの人たちだけでなく、自分も自覚を持って行動したいです。(S. A.)
- ・今回のSGH中間報告会で、私は積極的に学習し、目標に向けて努力している同級生との差を感じました。同級生が英語でスピーチをするのを見て、1年間でこれほど上達したのかと、ただただ驚きました。また、土曜講座をディベートで参加している人たちの受講している内容を知ること

とが出来て楽しかったです。ディベートは難しそうでしたが、スラスラ話せるようになると面白いだろうなと思います。私も今回の報告会で同級生の姿を見て、自分ももっと向上心を持って授業などに取り組みたいと思いました。SGコースには進みませんが、英語などの授業を積極的に取り組み、グローバルな視点を身につけたいです。(M. K.)

- ・総合学習の時間や普段の授業日、休日、さらにはテスト休みまでも利用してSGの人たちが自分の知らないところでやっていることが知れてよかったです。普段、一緒に授業を受けたり、ワイワイと話しをしている友達が「ココまでできるのか!？」と思うほどSGの活動の一環としてやっていることのレベルの高さに驚きました。また、世界で活躍されている方々とビデオ通話ができる経験をしていて羨ましくも思いました。(K. T.)



←

在校生、来賓、保護者、報道機関、職員で約1000人いる会場は静まり返し、いよいよ即興型ディベートデモンストレーションの開始です!!

→

**幕間では演劇部の生徒が感想などを交え、会を盛りあげてくれました!!
もちろん2人も英語で!!**



←

グループでの発表を終え、ホッと一息ついていました。会場の人の多さ、ステージ上での英語での発表に緊張と興奮とがあいまって、一段と良いプレゼンテーションが出来ました!!